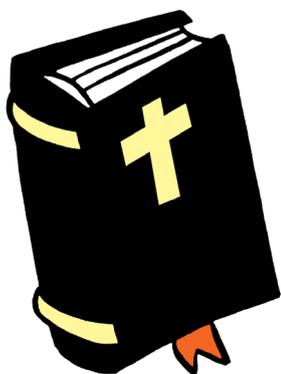




しとぎょうでん 使徒行伝：パウロ、アグリッパ王の 前に 立つ

(使徒行伝 第21-25章)



パウロはツロの町に立ち寄り、そこでも弟子たちといっしょに時間を過ごしました。ツロの人たちはパウロに、エルサレムへ行くのは危険だとしきりに警告しました。それでも、パウロはエルサレムへ向かう旅を続けました。

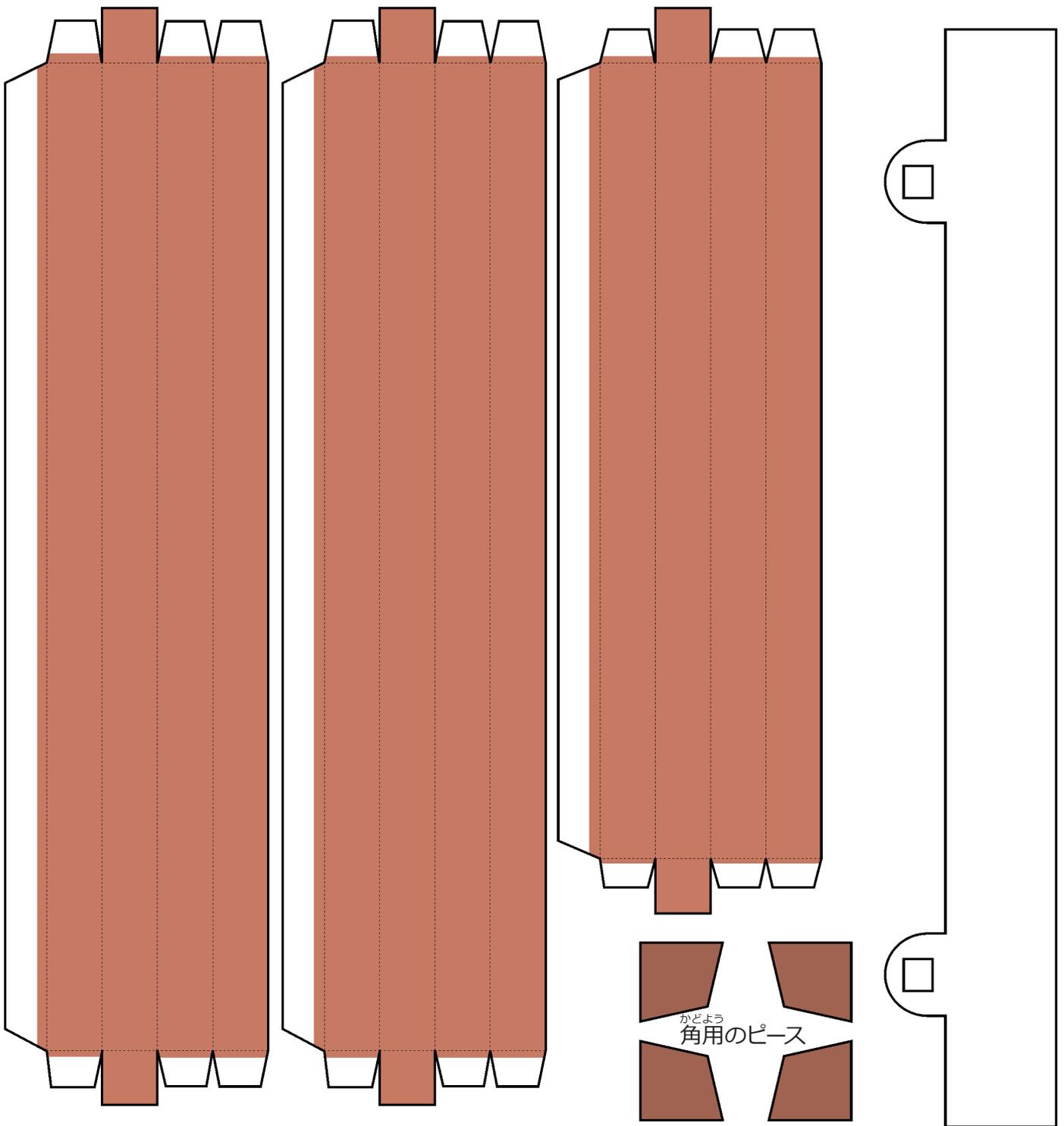
カイザリヤを通った時には、アガボという預言者がパウロの帯を取り、それで自分の手足をしばって、エルサレムに行けばこうなるのだと、パウロに警告しました。それでもパウロは、イエスのみ名のためには、エルサレムで死ぬのも覚悟の上だと言ったのです。

そしてある日、パウロがエルサレムの宮にいと、おこった人たちがパウロを囲み、彼を宮から引きずり出して、殺そうとしました。すると、ローマ兵たちが間に入って来て、パウロをカイザリヤのろうやに連れて行きました。

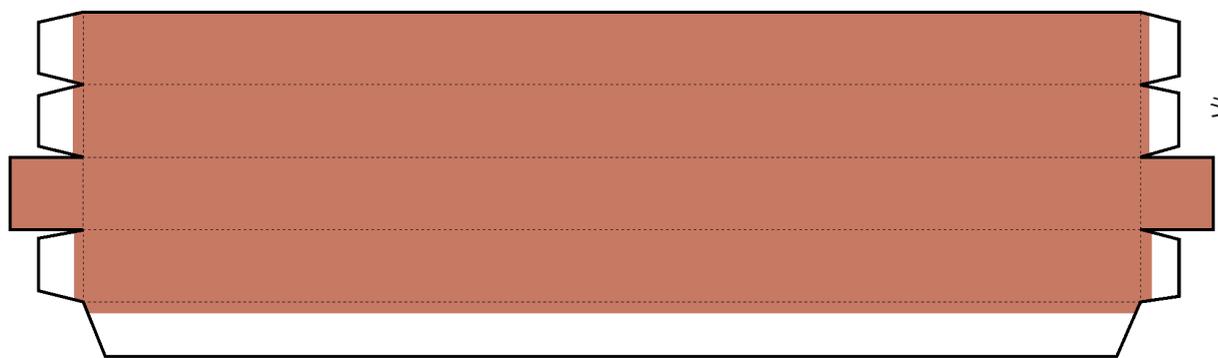
パウロはその機会を最大限に使い、大勢の人たちにイエス様のことを伝えました。その中には、ローマ総督フェストやアグリッパ王もいます。パウロを取り調べたフェストもアグリッパ王も、パウロが訴えられていることについて無罪であると分かりました。

けれども、パウロがローマ皇帝カイザルに上訴したので、パウロはカイザルの法廷で裁かれるためにローマに送られたのでした。



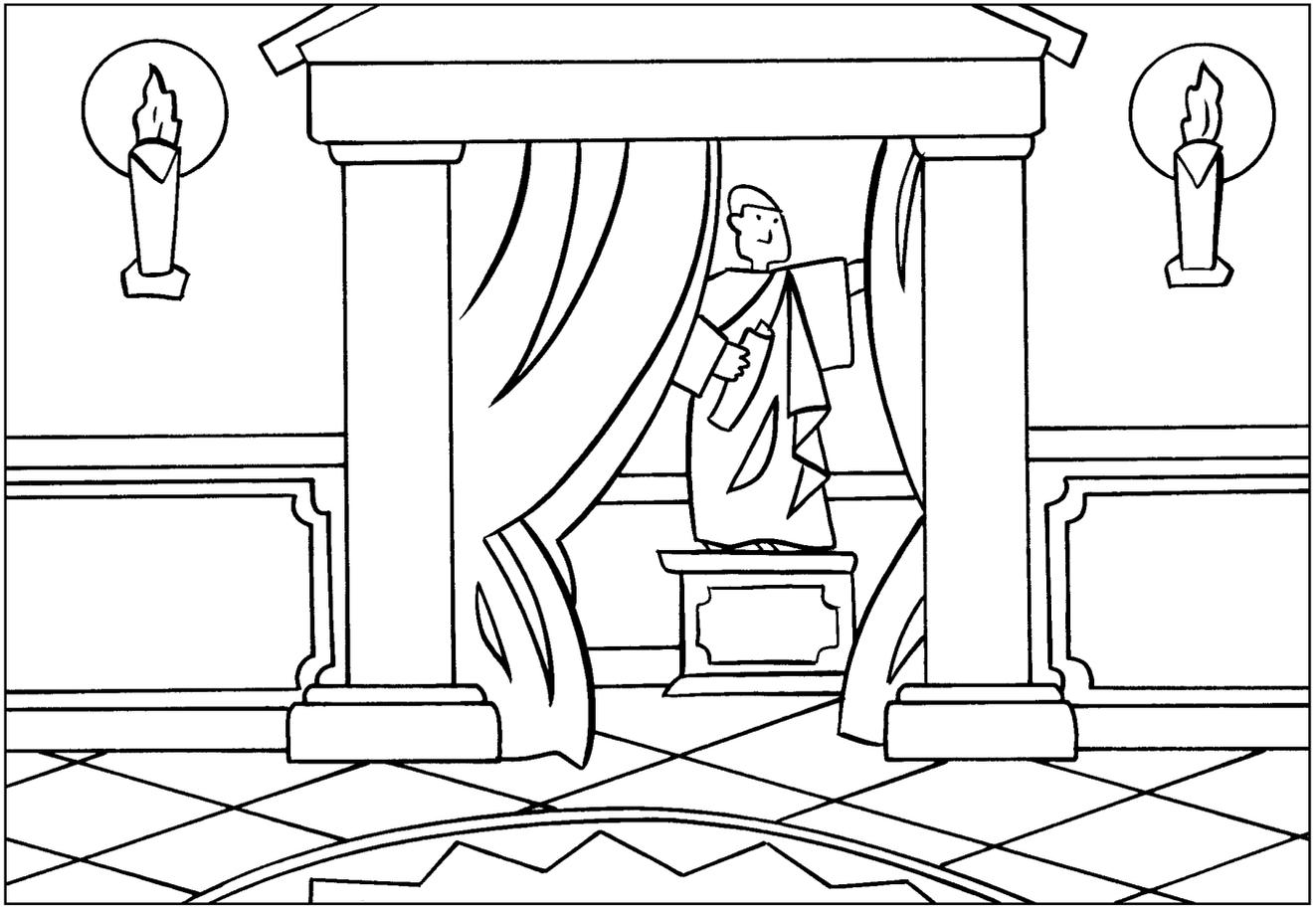


かどよう
角用のピース



よう
フレーム用のピース

ひも ^つ 紐を付けた後 ^{あと} に
は ^つ 貼り付けるピース
シャドーボックスの
つく ^{かた} 作り方は [こちら](#)



しとぎょうでん 使徒行伝：パウロ、アグリッパ王の 前まへに 立たつ

(使徒行伝 第21-25章)



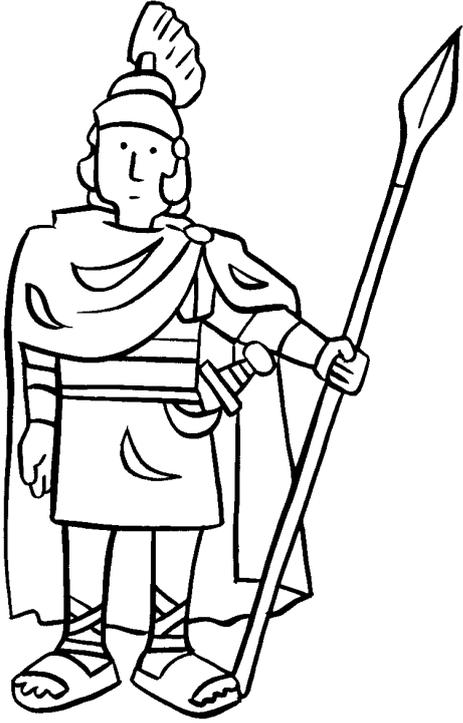
パウロはツロの町まちに立たち寄より、そこでも弟子でしたちといっしょに時間じかんを過すぎました。ツロの人ひとたちはパウロに、エルサレムへ行くのは危険きけんだとしきりに警告けいこくしました。それでも、パウロはエルサレムへ向むかう旅たびを続つづけました。

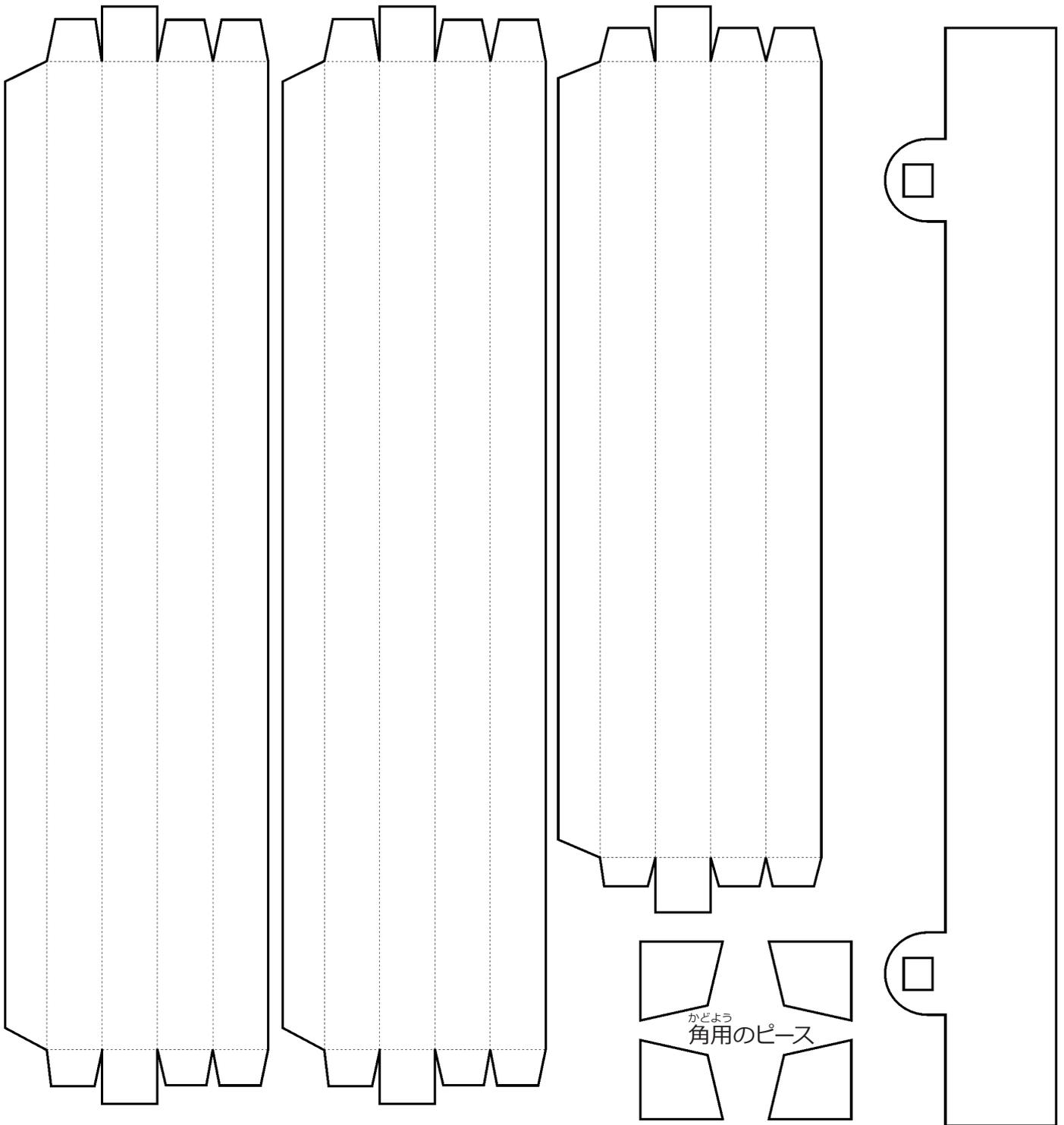
カイザリヤを通とおった時ときには、アガボという預言者よげんしゃがパウロの帯おびを取り、それで自分じぶんの手足てあしをしばって、エルサレムに行いけばこうなるのだと、パウロに警告けいこくしました。それでもパウロは、イエスのみ名なのためには、エルサレムで死しぬのも覚悟かくごの上うえだと言いったのです。

そしてある日ひ、パウロがエルサレムの宮みやにいと、おこった人ひとたちがパウロを困かこみ、彼かれを宮みやから引ひきずり出だして、殺ころそうとしました。すると、ローマ兵へいたちが間あいだに入はいって来て、パウロをカイザリヤのろうやに連つれて行いきました。

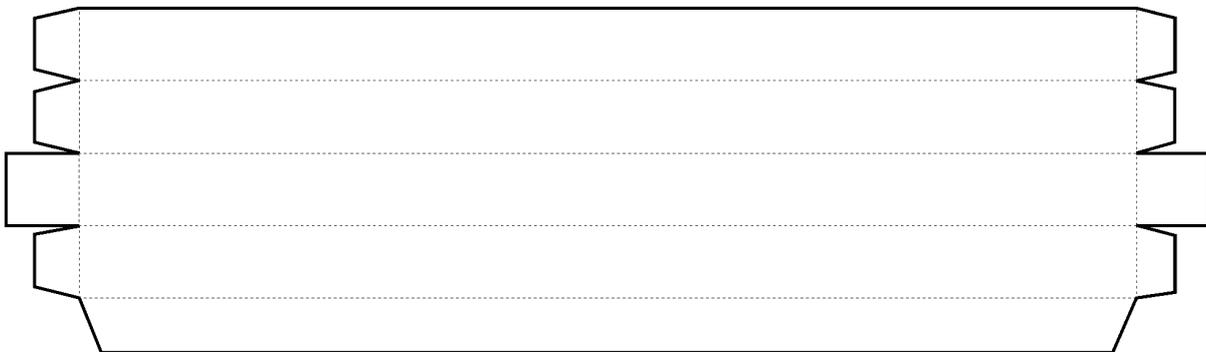
パウロはその機き会かいを最大限さいだいげんに使つかい、大勢おおぜいの人ひとたちにイエス様さまのこゝろを伝つたえました。その中なかには、ローマ総督そうとくフェストやアグリッパ王おうもいます。パウロを取とり調しらべたフェストもアグリッパ王おうも、パウロが訴うえられていることについて無罪むざいであると分わかりました。

けれども、パウロがローマ皇帝こうていカイザルに上訴じょうそしたので、パウロはカイザルの法廷ほうていで裁さばれるためにローマに送おくられたのでした。





かどよう
角用のピース



よう
フレーム用のピース

ひも^つを^{あと}付けた後に
は^つ貼り付けるピース
シャドーボックスの
つく^{かた}り方は[こちら](#)